1液水性ラジカル制御形ハイブリッド高耐候性塗料

ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆

JIS A 6909 耐候形1種相当※
※該当規格を満たしています（社内試験）

ニッペ パーフェクトトップ

特　長

1 高作業性
ポリマーハイブリッド効果により、ローラーが軽く、ネタ伸ばしがスムーズに行えます。
ローラーネタ含み性及び転写性にもすぐれており、隠蔽（かぶり）も良く、飛散がしにくい作業性を有しており、水性で非危険物です。

2 高耐候性
紫外線による塗膜劣化対策として当社独自の「ラジカル制御」技術により、アクリル樹脂を使用しながらシリコンを超える耐久性があります（特許申請中）。
耐候形1種に相当し、可とう形改修塗材Eの上塗りに最適です。

3 高光沢
ポリマーが塗膜間の隙間を埋めるため、緻密な塗膜形成が可能となり、すぐれた高光沢を実現できました。また、パーフェクトシリーズ下塗りとの組み合わせによりさらに美しい外観が得られます。
ニーズに合わせたしっとりとした落ち着きのある3分つや、つや消しなどつやの調整も可能です。

4 防藻・防かび性
防藻・防かび機能を有します。オプションにより強力防かびも可能です。

5 低汚染性
親水化技術により、雨だれ汚染から建物をまもります。

新技術「ラジカル制御」（特許出願中）

紫外線
樹脂
ラジカル発生
酸化チタン
ラジカルによる樹脂切断
通常の酸化チタン

紫外線
樹脂
ラジカル封止能
酸化チタン
表面保護層
ラジカル制御形酸化チタン

従来の塗料では、紫外線によって顔料の主成分である酸化チタン内からラジカル分子が発生・拡散し、樹脂同士の結合を破壊して、チョーキングなどの現象を引き起こします。ニッペパーフェクトトップは、新技術「ラジカル制御」によってラジカル分子を酸化チタン内に封じ込めることに成功しました。

［促進耐候性試験結果］

光沢保持率（%）: 100, 90, 80
キセノンランプ（時間）: 0, 500, 1000, 1500, 2000, 2500, 3000
― パーフェクトトップ
― 当社従来フッ素樹脂塗料
― 当社従来シリコン樹脂塗料

標準塗装仕様（塗り替え）

モルタル面、コンクリート面の塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量（kg/㎡/回）	塗り重ね乾燥時間（23℃）	希釈剤	希釈率（%）	塗装方法
下地調整	活膜を残し劣化塗膜は入念に除去する。ほこり、汚れを除去、清掃する。						
下塗り	ニッペ パーフェクトフィラー	1	0.25～0.50	4時間以上	水道水	3～6	ウールローラー
			0.50～0.90			1～3	砂骨ローラー
						2～5	タイルガン
上塗り	ニッペ パーフェクトトップ	2	0.11～0.17	3時間以上		3～5	はけ、ウールローラー エアレススプレー

窯業系サイディングボード、ALCパネル面の塗り替え

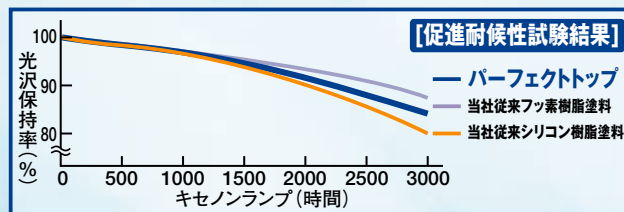
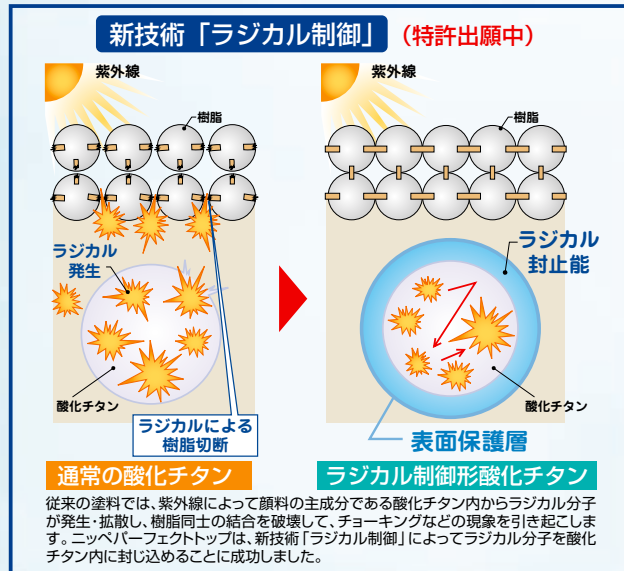
工程	塗料名	塗り回数	使用量（kg/㎡/回）	塗り重ね乾燥時間（23℃）	希釈剤	希釈率（%）	塗装方法
下地調整	活膜を残し劣化塗膜は入念に除去する。ほこり、汚れを除去、清掃する。						
下塗り	ニッペ パーフェクトサーフ	1	0.20～0.40	3時間以上	水道水	2～5	はけ、ウールローラー
上塗り	ニッペ パーフェクトトップ	2	0.11～0.17	3時間以上		3～5	はけ、ウールローラー エアレススプレー

一般鉄部、FRP、ステンレス、金属系サイディングボードの塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量（kg/㎡/回）	塗り重ね乾燥時間（23℃）	希釈剤	希釈率（%）	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部を含めて入念に除去する。さびは電動工具やサンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。						
下塗り	ニッペ パーフェクトプライマー	1	0.14～0.16	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA	0～5	はけ、ローラー
			0.16～0.18			0～5	エアレススプレー
上塗り	ニッペ パーフェクトトップ	2	0.11～0.17	3時間以上	水道水	3～5	はけ、ウールローラー エアレススプレー

※一般鉄部にはニッペパーフェクトプライマー以外に、ハイポン20デクロ、ニッペ1液ハイポンファインデクロ、速乾シアナミドヘルゴン下塗、速乾PZヘルゴンエコ、ハイポンファインプライマーⅡも使用できます。
※さびが発生しやすい溶接部などの現場溶接部については、入念な下地調整後、下塗り塗料（さび止め塗料）で部分補修塗りをしてから下塗りしてください。

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状・素地の状態・気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）
※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。
特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いします。

NIPPON PAINT CO.,LTD.

ニッペ パーフェクトトップ

塗料性状・荷姿

塗料名	色相	つや	容量	希釈剤	希釈率	使用量(kg/㎡/回)	塗装方法
ニッペ　パーフェクトトップ	各　色	つや有り 5分つや有り 3分つや有り つや消し	15kg	水道水	3～5%	0.11～0.17	は　け ウールローラー エアレススプレー

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定器・測定方法により増減します。
・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

乾燥時間

	5～10℃	23℃	30℃
指触乾燥	40分	15分	10分
塗り重ね乾燥	8時間以上	3時間以上	2時間以上

※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

適用下地（塗り替え改修用）

下地	旧塗膜	下塗り
●モルタル面　●窯業系サイディングボード ●コンクリート面　●ALCパネル面	各種旧塗膜	ニッペ パーフェクトフィラー ニッペ パーフェクトサーフ
●鉄部　●FRP　●ステンレス　●木部 ●金属サイディングボード　●亜鉛メッキ ●アルミ	各種旧塗膜	ニッペ パーフェクトプライマー

施工上の注意事項（詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。）

・つや消し系の製品では、はけ、ローラーでの塗装はムラが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
・つや消し系の製品では、塗り継ぎや補修でつやムラが出やすいので、面を切って通しで塗装してください。
・過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
・つや消し系の製品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんし、均一な状態でご使用ください。
・つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、塗り板見本を参考に試し塗りをしてください。
・つや調整品は、塗料液が分離しやすいので、よくかくはんしながらご使用ください。
・防藻・防かび・抗菌効果は、繁殖を抑制するものです。既に繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
・被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
・著しい汚染が発生しそうな個所には、状況に応じてニッペクリスタコートをオーバーコート剤として塗装することをおすすめします。
・絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
・塗装後24時間以内など乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。
シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
・色相によっては降雨、結露によって濡れ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
・乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
・スプレーノズルの先端は、時々水洗いをしてください。作業能率の低下および塗りむらの原因になります。
・乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
・反応硬化タイプの塗料のため、使用後のはけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
・動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
・既存塗膜のはく離個所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
・風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ一液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
・塗り替え時のシーラーは、ニッペウルトラシーラーⅢまたはニッペ水性カチオンシーラーをご使用ください。溶剤形シーラーのご使用は、旧塗膜の種類によっては溶剤膨れを発生させることがあります。
・シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
・蓄熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など）を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が膨れていることがあります。
そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。
・素地は含水率10%以下、pH9以下となるように調整してください。
・表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
・ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材（ニッペセメントフィラー、ニッペフィラー200）などで処理してください。（合成樹脂エマルションパテの使用は避けてください。）
・内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
・素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
・新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー（新）、ニッペ一液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
・塗装直後から頻繁に人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、皮脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
・屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
・シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
・笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
・塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
・上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。
・調色には必ず専用の原色をお使いください。
・濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような個所に使用する場合は、ニッペファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。
・大型壁面塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
・はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
・ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。
・塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りは出来る限り入り隅まで入れてください。
・汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
・ローラー、ハケなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、ハジキなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
・可塑剤が多く含まれる塩ビゾル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
・平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
・使用前に内容物が均等になるようにかくはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
・大気中の浮遊鉄成分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
・製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート（MSDS）をご参照ください。

安全衛生上の注意事項

ニッペ パーフェクトトップ　ホワイト

・本来の用途以外に使用しないでください。
・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
・粉じん／ガス／蒸気／スプレーなどを吸入しないでください。
・汚染された作業衣は密封袋に入れて作業場から出してください。
・取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
・適切な保護手袋／防毒マスクまたは防塵マスク／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用してください。
・必要に応じて個人用保護具を使用してください。
・飲み込んだ場合：気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。
・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
・眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けてください。
・皮膚に付いた場合、多量の水とせっけんで洗ってください。
・取り扱った後、手を洗ってください。
・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けてください。
・直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください／取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
・粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
・暴露したとき、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
・緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
・容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。
・施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
・直射日光や水濡れは厳禁です。
・塗料などの缶の積み重ねは3段までとしてください。
・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上（スプレー缶の場合は40℃以上）の温度に暴露しないでください。
・内容物／容器を廃棄する時には、国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
・容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。
■詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート（MSDS）をご参照ください。
■本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危　険		危険有害性情報	飲み込むと有害のおそれ／強い眼刺激／アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 発がんのおそれの疑い／生殖能力または胎児への悪影響のおそれ

日本ペイント株式会社

お客さまセンター
☎03-3740-1120
☎06-6455-9113
http://www.nipponpaint.co.jp/

●当社は2012年9月現在、ISO 14001を全事業所で認証取得しております。
●このカタログは再生紙を使用しています。

■詳しい情報はホームページで
日本ペイント　建物　検索
http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html

カタログNo.
NP-Q090
KE120918T
2012年9月現在